

Catholic Tokyo Volunteer Center

大都会に住む私たちは、食べたいときに食べ、飲みたいときに飲む、消費者としての生活を当たり前のようには享受しています。2011年3月11日の震災で、いのちに直結する米、野菜などは、作り手がいて私たち消費者の生活が成り立っている、当たり前のことだけれど、ふだん考えないことを考えることができたのではないかと思います。

今回、お話をお聞きする大内信一さんは生粋の農業人(大内さんはご自身を「百姓」と表現します)です。40年前に有機農業へ転換、二本松市で有機農業を通して「安全と味と健康」を追求しておられます。CTVC講演会で初めて、生産者の目線でのお話をお聞きします。土のこと、作物のこと、いのちのこと、そして福島への思いを語っていただきます。

私たちの生き方を変えるヒントが見つかるかもしれません。ご参加をお待ちしております。

シリーズ「福島から語る」

土の強さと作物のかしこさに助けられて —3.11以降の福島の農業—

1941年生まれ。1956年に就農し愛農会と出会い40年前に有機農業へ転換。1978年には二本松有機農業研究会を結成し、福島県二本松にて有機農業を実践、消費者との連携・交流活動を続けてきた。2011年3月に発生した福島原発事故以降も福島県にとどまり農業を営んでいる。

注1:全国愛農会は、1945年に起こされた有機農業に取り組む百姓の全国組織。農業を愛し、農業に生きる人びとが、自主独立の運動として推進し、全国に広がっている。
愛農会ホームページ: <http://www.ainou.or.jp/>

著書:

「百姓が書いた有機・無農薬栽培ガイド:プロの農業者から家庭菜園まで」 コモンズ社 2016年11月



講演者:大内信一さん

日時:2017年9月23日(土) ●午後2時から4時(午後1時30分開場)
●入場無料(要事前申し込み)※下記CTVC事務局までご連絡ください。

会場:フランシスカン・チャペルセンター地下ホール

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-37
(東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木」駅 6番出口。徒歩5分)



CTVC-カトリック東京ボランティアセンター
〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39
電話 03-6721-1421 FAX 03-6721-1422
E-mail tokyo@ctvc.jp HP <http://ctvc.jp>

